

「さわやか西中 あこがれの自分を求めて」

平成28年度 柳津町立西山中学校

# 学校だより

平成29年1月13日(金)発行 第 38 号 発行責任者:高橋 弘悦

## 「ひしストラップ」活動の今後の展開 保護者の皆様のご理解ご協力をお願いします

生徒たちが開発した、西山独自のみやげ物「『ひし』ストラップ」。今では、町のおみやげとして認識されつつあります。消えつつあった西山独特の風習を、西山中生がその若い感性で復活させ、多くの方にその存在を知らしめるものとなっています。

ご存じとは思いますが、この「ひしストラップ」は、地域のお年寄りをはじめ、多くの方々から製作協力をいただき、地域とのコラボレーションで商品化されています。

全校生が20名にも満たない小規模校にあつては、せつかく開発した「ひしストラップ」を

「地域のおみやげ」として販売するだけの数量を確保できない。この課題に対し、本校生徒は、地域の老人に製作を委託することで見事に解決してきました。はからずも、この試みは製品のやりとりを通して、お年寄りには孤立化防止、生徒には貴重な異年齢交流の場、ボランティア活動の場ともなっています。

かつて本校では「老人宅訪問」を実施し、ボランティア活動をさせていただいていました。お年寄りのご自宅を訪問し、作業をさせていただくとともに、昔の西山の生活を聞いてくる、というものでした。教育的に価値の高いものであるとは感じていましたが、西山のお年寄りは、「他人のお世話になる」ことを好まない方が多く、受け入れしてくださる方がほとんどおられないことが悩みでした。「ひしストラップ」づくりはこうした問題を一気に解決するものです。



以上のようなことも踏まえ、本校学校支援ボランティアをさせていただいている菊地 由枝さんが、西山各地区を回り、お年寄りのみのご家庭を中心に「ひしストラップづくり」にご協力いただける方をリストアップしてくださっています。

今後、菊地さんが作成してくださったリストをもとに、1, 2年生(3年生は受験前なので受験勉強に専念してもらいます。)が担当するご家庭を決定し、「ひしストラップ」づくりと簡単なボランティア活動(玄関の雪はき、会話など)を実

践していきたいと思っています。2月末までの学習に支障がない範囲でのほんの1, 2回程度の訪問でかまいません。折しも大雪になる気配があります。雪に閉ざされるお年寄りのちょっとした楽しみになるかもしれませんので、ぜひ実施したいと思います。

なお、具体的な動き方については、今後あらためて学校より文書でお知らせいたします。趣旨をご理解の上、よろしくご協力お願いいたします。

## 1月の生徒指導

生活目標：自分の目標に向かい、積極的な態度を確立しよう。

運営目標：新年を迎え、学校生活も1年の締め括りの時期をむかえる。個々の生徒を励ましながらか、自分自身を見つめ直させる。

### [指導上の留意点]

冬休みの生活習慣から早くリズムを取り戻し、生活や学習が規則正しくできるようにさせる。また、生徒一人一人に目を向け、励ましながらか、新たな決意と希望をもって、新しいスタートが切れるように指導する。

#### 1. 生活指導

- (1) 学校生活のリズムを回復させる。
  - ① 1日の日課を再確認させる。
  - ② 休み時間を落ち着いて過ごさせる。
  - ③ 教科連絡を徹底させる。
- (2) 健康管理（インフルエンザ・かぜの予防）に注意する。
  - ① 室内の換気、うがい、手洗いを励行する。
  - ② 部活動後の汗の始末をしっかりとさせる。
  - ③ 時と場に応じた服装をさせる。
- (3) 安全な生活に心がける。
  - ① 安全な登下校をさせる。
  - ② 室内での過ごし方をきちんとさせる。
- (4) 3学期の目標を立てさせる。



#### 2. 学級指導

- (1) 係の仕事内容について確認させる。
- (2) 学級生活の反省をさせる。
  - ① 学級での人間関係の見直しさせる。

#### 3. 教育相談・三者面談

- (1) 生徒の変化を的確にとらえ、指導援助する。
  - ① 服装・言葉遣い・交友関係・学習態度・生活の様子について観察する。
- (2) 適宜生徒との相談の場を設ける。
  - ① 進路に向けて、自己を見つめさせる。
  - ② 家庭との連携を密にする。

#### 4. 学習指導

- (1) 冬休みの課題を早急に提出させる。
- (2) 3学期の学習の目標を持たせる。

### うれしい話(\*^\_^\*)

先日ある保護者の方から、うれしいお話を伺いました。知り合いの方が西山中のホームページの愛読者で「先生方の情熱、それを空回りさせない地域の皆さんの理解が素晴らしい。レベルの高い教育が行われている」というようなことを語られていたと…。

何気なく掲載しているホームページの記事ですが、このように興味を持って観てくださる方がおられること、きちんと評価していただいていることが大変うれしく、新年早々幸せな気分になりました。